

水需要の動向を注視しながら、浄水場の統廃合による合理化について検討し、今後の方向性を示していきたいと考える。また、市民のために何か有効活用を図ることはできないかという点につきましては、施設が稼働している現状において、“水の安全確保”、“衛生上”の観点から難しい状況でありますので、今後研究して参りたい。

細田まさのり議員より 中部浄水場の建物はだいぶ老朽化しており、近隣住民より何も使っていないように見受けられ夜は物騒な建物に感じると、何とかならないかという声と、そこで、まだこの建物を利用しているのであれば敷地内を含め整備すべきと、そして、何か多目的に利用できるか検討してみたいと思っておりますが如何か。

上下水道部長より 中部浄水場は、建設から50年以上が経過し、外見が古びた感じとなっておりますので、市民の皆様からはどのような目的の建物なのか分かりづらい状況であると認識しております。浄水場という役割においては、安心安全な水を各ご家庭に届けるため、現在も24時間稼働し続けており、水需要に合わせた運転管理を行っている重要な施設でございます。また、水道法の規定により、安全性を確保しなければならないことから、不特定多数の人が施設内を出入りすることは、現在のところ難しいと考える。このため、市民の利用に資することはできませんが、外見のイメージアップなどを図ることで、より身近に感じていただける施設となるようにしてまいりたいと考えております。

細田まさのり議員より 水道事業の耐震化などについては、ずいぶん前から言われており、今もこの対応をいただいていると思っておりますが、安心安全な水を届けるということですが、スピード感をもって行っている感じがいたしません。また、長い年月が経っている地下埋設を含むインフラは老朽管対策等やりながら、今後、市内に3つもある浄水場を含めた更新工事や大規模修繕を行っていくためには膨大な市の職員の人力が必要と思っておりますが、今何名の職員でこういった業務を行っているのか、お伺いします。

上下水道部長より 現在、三つの浄水場における更新工事や修繕を担当している職員は2名でございます。

細田まさのり議員より 職員が2名ということですが、老朽化が一斉に迫ってきているインフラ対策や、今後3つの浄水場等の更新工事や大規模修繕等を行うには大丈夫な人員・体制なのか疑問に思う。水道事業においては、施設等を含め非常に広範で、かつ深い技術知識と熟知した経験が必要で、一朝一夕にこれらを継承するなど、中々難しいことと担当職員から伺っています。このことから、これら今後の

問題に向け、対応できる職員の人員数や体制を見直して頂きたい。

それでは、施設の建物や一部の施設は完成から50年以上経過している状況もあり、全般的に老朽化が見受けられることから、今後につきましては、本市の水道事業の将来像を定めた「戸田市水道ビジョン」に基づき、中長期的な視点で、より安定した施設の構築を目指すこととして、水需要の動向を注視しながら、浄水場の統廃合による合理化について検討し、今後の方向性を示していきたいと考えると答弁されました。それでは、まず人口が増えている戸田市として人口増に伴い水の需要も増加すると思っておりますが、過去と現在とでは水の需要は増加しているのかお伺いします。

上下水道部長より 本市における給水人口は、ここ5年間で約1万人伸びておりますが、市全体の水の需要をあらわす、いわゆる有収水量においては、ほぼ横ばいとなっている状況でございます。また、1人当たりや1世帯当たりでは、水の使用量がマイナスとなっております。この要因としては、大口使用者である法人の転出、また、節水機器の普及や節水意識の高まりが考えられるところでございます。

細田まさのり議員より 人口増にともない水道の使用も増加していると思いきや、過去と現在とでは増加傾向というよりも水の使用についてはマイナスであると、このような状況であることを踏まえると、水道事業としては本腰でこれからの戸田市の水道事業をどうすべきか、今後の経営計画をしっかりと示さなくては事業が成り立たなくなるのではと危機感を感じます。このようなことを踏まえて、余り水の水需要の変動がない時だからこそ、今後の浄水場等について、統廃合等を踏まえて調査研究すべきと思うが如何か。

上下水道部長より 水の需要における今後の推移においても、先ほど申し上げた事由により、当分の間この傾向は変わらないものと考えております。

浄水場を含めた水道施設は、設置から長い年数が経過しているものが多くございます。各施設の効率的な運用を図りつつ、今後早い時期に浄水場など水の供給体制をどのようにしていくかなど、安心安全な水の供給についての研究を鋭意進めてまいりたいと考えております。

細田まさのり議員より 未来永劫、市民の皆様が安心安全な水の供給をするために大変重要な浄水場です。そして、設備等の老朽化がまったなしに進んでいる浄水場で、後回しにはできない重要な課題であると思っております。

緊急時、水の供給が止まれば市民の生活に大変な影響を及ぼすことを考えれば大変大事な装置であり、一つ

の装置が稼働しなくても他の浄水場で対応できるようにするなど、どんな時でも安定供給できる状況にしないといけないと思います。また、設備には多額の費用を要する装置

彩湖道満グリーンパークのトイレと彩湖周遊道路について

【要旨】

- (1)現在のトイレ利用状況について。
- (2)苦情や要望については、どのようなものが届いているのか。
- (3)利便性を向上させる対応策について。
- (4)彩湖周遊道路で、どのような苦情や要望が届いているのか。
- (5)彩湖周遊道路の対応策について。

細田まさのり議員より 彩湖・道満グリーンパークは、東京近郊のアクセスの良さに加え、緑あふれる約67haの広大な敷地に、バーベキュー広場、遊戯広場、ドッグラン、野球場等が各所に配置され、管理が行き届いた快適な公園であることから、市内外から年間約100万人が訪れる有数の行楽地でございます。

行楽シーズンにおいて、競技イベントと行楽利用が重なった休日は通常の利用者数を上回るため、トイレの利用者も当然増えてまいります。

そのため、公園内のトイレ浄化槽の容量を上回り、下水が溢れてしまう状況を、たびたび目にしています。

市民の方々からも改善の要望等の声が届いておりますので、市として、現状をどの様に認識し、課題に対して今後どのように取組まれていくのか、お伺いいたします。

- (1)現状のトイレ利用状況について
- (2)トイレに関する苦情や要望についてどの様なものが届いているのかについて
- (3)トイレの利便性を向上させる対応策についてお伺いいたします。

そして、彩湖周遊道路は、彩湖・道満グリーンパークの南側に接する国が管理する彩湖維持管理用道路であり、普段から、湖に接する周遊道路はロケーションが良いことから、散歩、ジョギング、サイクリングに使用されています。

近年、周遊道路にて自転車の高速走行が見受けられるようになり、単独又は連なって早く走るため、使用者が混在している時に、ランナー等の脇をすり抜ける場所を見ますとヒヤリとします。そして、ここを歩いていた知り合いからはペットボトルを投げられたとも聞いております。

彩湖・道満グリーンパークの利用者には、周遊道路及び彩湖まで足を延ばして散策を楽しんでいる方も多いため、公園利用者の安全を確保することが必要だと思っております。

ではありますが、早急に統廃合等を含め研究に取り組んで頂きますよう要望します。



そこで、国の管轄する道路でのことではあります。市として現状をどの様に認識し、課題に対してどのように取組まれているのか、お伺いいたします。

(4)彩湖周遊道路でどのような苦情や要望が届いているのか。

(5)彩湖周遊道路の対応策について。

以上、(1)から(5)までの点についてお伺いします。

環境経済部長より (1)現状のトイレ利用状況について。

現在、公園内には常設トイレが7か所設置されているほか、簡易トイレ21基を設置しております。春と秋の繁忙期には、バーベキュー等の行楽利用の他、サッカー、ソフトボール、テニスの大会等に多くの方々を訪れるため、バーベキュー広場、中心広場、遊戯広場、テニスコート場等に隣接する常設トイレは、一時的に行列ができることもあり、日頃から利用頻度が高くなっております。

次に、(2)苦情や要望について、彩湖・道満グリーンパークでは、行楽シーズンに、スポーツイベント等が重なった場合、浄化槽容量を超える等の理由により、トイレが詰まってしまうことがあります。特にテニスコート脇の常設トイレは、ソフトボールとテニスの大会等のイベントが重なった場合、利用者が多くなると汚水が便器から溢れることから、トイレを改善して欲しいとの要望が多く寄せられております。

次に、(3)利便性を向上させる対応策について、バーベキュー広場の常設トイレでは、繁忙期に浄化槽の容量を超えた利用により水が溢れてしまうことから、平成28年度に浄化槽の処理槽を拡大する改修工事を行い、改善が図られました。

本年度は、テニスコート脇の常設トイレの水のあふれを解消するため、処理槽を拡大する設計を行い、来年度に改修工事を実施する予定でございます。

次に、(4)彩湖周遊道路の利用について、彩湖周遊道路は、国土交通省荒川上流河川事務所が所管する道路であり、公園の施設ではございませんが、公園の指定管理者である水と緑の公社に確認したところ、毎年数件、自転車のスピードやマナー等に関するご意見を頂い